令 和 ８ 年 ８ 月 １０ 日
十和田市くらし環境課

一本木沢町内会
「令和７年度生ごみ回収実証事業」実績報告

１．事業概要

〇実施期間 ： 令和7年4月1日から令和8年3月 31 日まで
〇回 収 日 ： 毎週月曜日（祝日の場合は翌平日） ※合計 50 回
〇回収方法 ： 町内にあるごみ収集場所に「生ごみ回収専用バケツ」を設置し、回収日の午前8時までに生ごみをビニール袋に入れて排出。排出用のビニール袋は色や形の指定はないが、各家庭で用意。
〇回収箇所 ： 一本木沢町内会のごみ収集場所 ※34 箇所

２．事業実績

●回 収 量 ： 合計 8,660kg（回収用の袋：770kg を除く） ※1回の平均回収量：173.2kg
●事業経費 ： 生ごみ処理費用＝93,357 円 ※9,430kg（袋を含む重さ）×9.9 円/kg（処理単価）
生ごみ回収運搬車両借上料＝825,000 円 ※16,500 円/回（借上単価）×50 回
消耗品代（バケツ用袋・消臭剤）＝86,150 円

合計 1,004,507 円

●肥料製造量 ： 822.7kg
●電気エネルギー製造量 ： 1,621.6kWh（一般家庭1世帯の 125 日分の電力消費量に相当）
●実証事業の結果について

今回の事業では、1年間で 8,660kg（約9トン）の生ごみが回収されました。

令和7年度における十和田市の家庭系可燃ごみの排出量が 10,280 トンであるため、比率にすると約 0.08 パーセントにあたります。

また、回収した生ごみは肥料や電気エネルギーを製造する資源として有効活用されており、数字的には僅かではありますが、ごみの減量や分別に対する意識啓発、資源として再利用など地球環境の保全に繋がっています。

●市全体で生ごみの回収を行った場合の減量効果の試算

一本木沢町内会には約 400 世帯が加入しています。令和8年3月 31 日時点の十和田市の総世帯数は 28,142 世帯で、一本木沢町内会は全体の約 1.4 パーセントを占めています。

世帯構成員の差などを考慮せずに世帯数のみを基準に市全体で生ごみの回収を行った場合の減量効果を試算すると、可燃ごみのうち約 609 トン（約 5.9%）が減量されることになります。

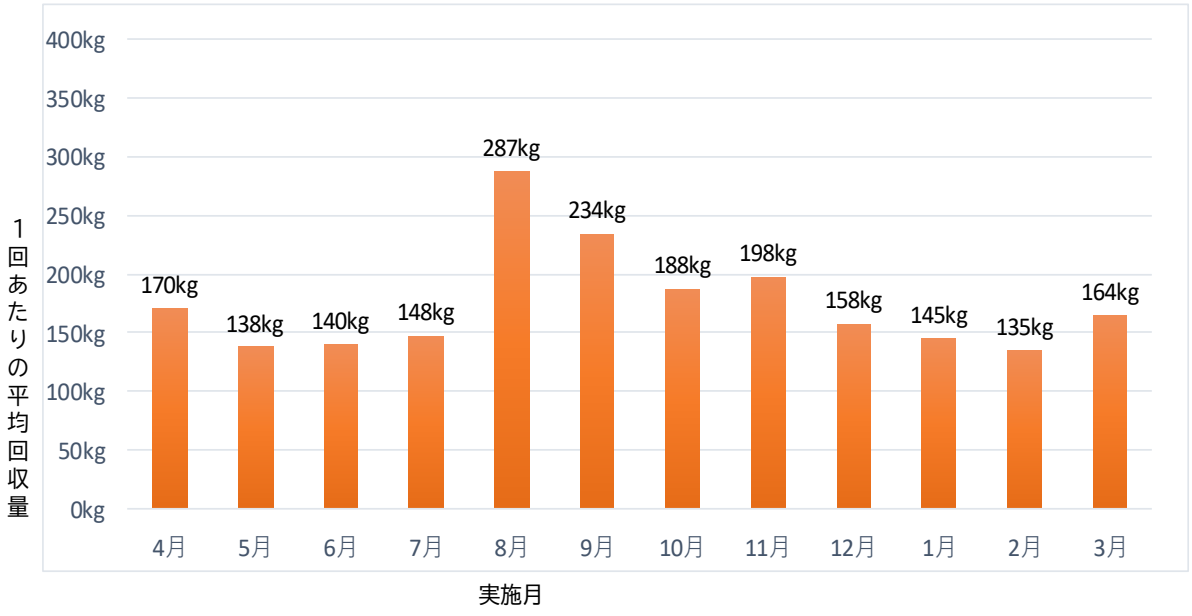
計算式：28,142 世帯/400 世帯×8,660kg≒609 トン

●月別の回収量

【回収実績】

年度	実施月	実施回数	回収量	1回あたりの平均回収量
令和5年度	1カ月	4回	960kg	240kg
令和6年度	11カ月	42回	6,960kg	166kg

	実施月	実施回数	回収量	回収した袋の重量	生ごみ重量	1回あたりの平均回収量
令和7年度	4月	4回	720kg	40kg	**680kg**	170kg
	5月	4回	590kg	40kg	**550kg**	138kg
	6月	5回	760kg	60kg	**700kg**	140kg
	7月	4回	630kg	40kg	**590kg**	148kg
	8月	3回	1,130kg	270kg	**860kg**	287kg
	9月	5回	1,270kg	100kg	**1170kg**	234kg
	10月	4回	780kg	30kg	**750kg**	188kg
	11月	4回	830kg	40kg	**790kg**	198kg
	12月	4回	670kg	40kg	**630kg**	158kg
	1月	4回	610kg	30kg	**580kg**	145kg
	2月	4回	570kg	30kg	**540kg**	135kg
	3月	5回	870kg	50kg	**820kg**	164kg
合計		50回	9,430kg	770kg	**8,660kg**	173.2kg



3．生ごみ回収実証事業に係るアンケート調査集計結果

〇回答者数：165 名

①今回の実証事業への参加状況

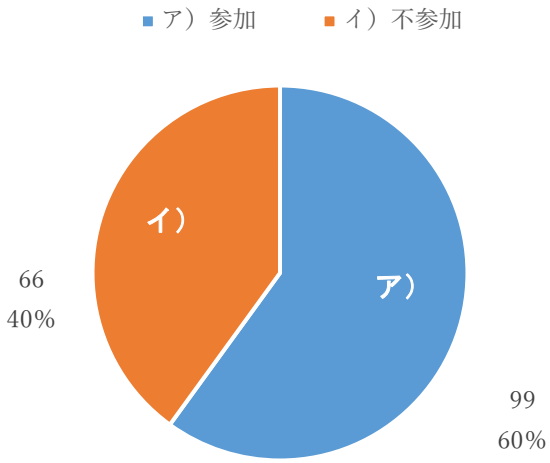
ア）参加	99 名
イ）不参加	66 名
合　計	165 名

※「イ）不参加」の理由

・生ごみが無い

・分けるのが面倒

・クマやカラスの危険性がある　など



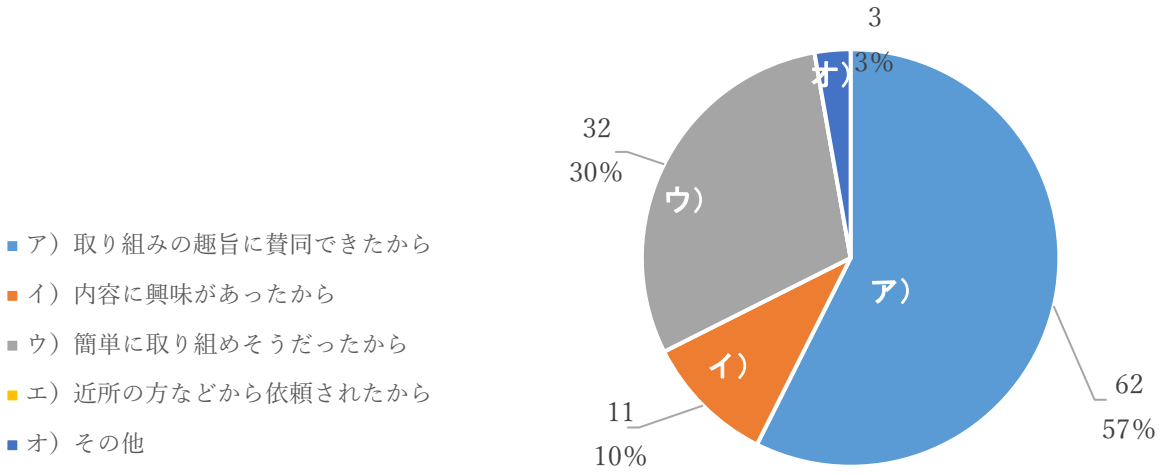
② ①でア）参加を選んだ方の参加するきっかけ

ア）取り組みの趣旨に賛同できたから	62 名
イ）内容に興味があったから	11 名
ウ）簡単に取り組めそうだったから	32 名
エ）近所の方などから依頼されたから	0 名
オ）その他	3 名

※「オ）その他」の内容

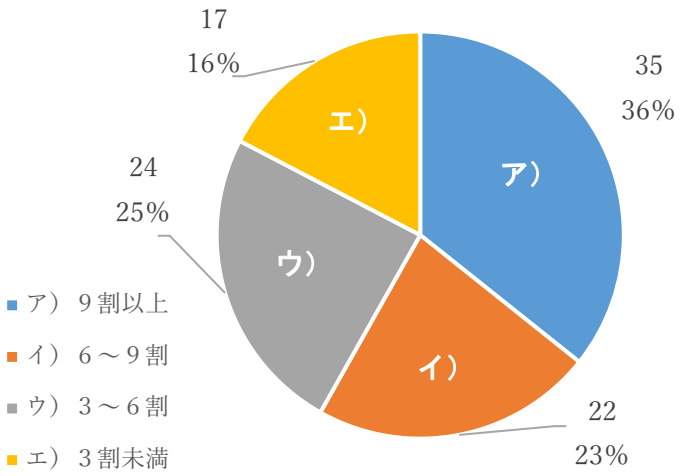
・市役所に依頼されたから

・積極的ではないが、町内会の取り組みだったから　など



③事業への参加頻度

ア）９割以上	35 名
イ）６～９割	22 名
ウ）３～６割	24 名
エ）３割未満	17 名
回答数	98 件



④年間を通して生ごみの回収を行った感想

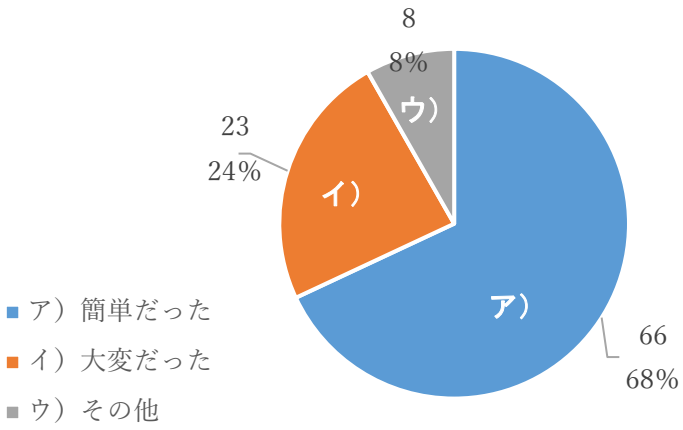
ア）簡単だった	66 名
イ）大変だった	23 名
ウ）その他	8 名
回答数	97 件

※「イ）大変だった」、「ウ）その他」の内容

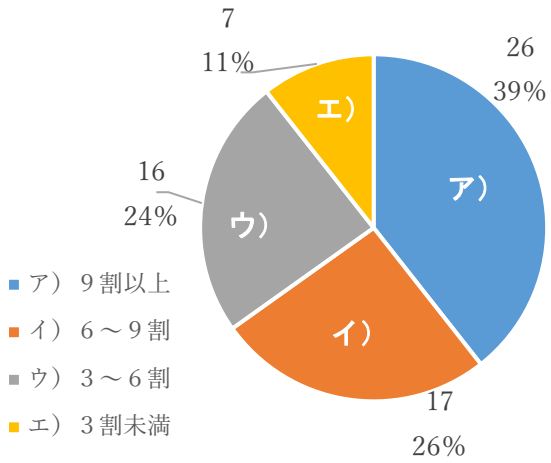
・夏は臭いがするのでイヤだった。

・習慣づけるのに時間がかかった。

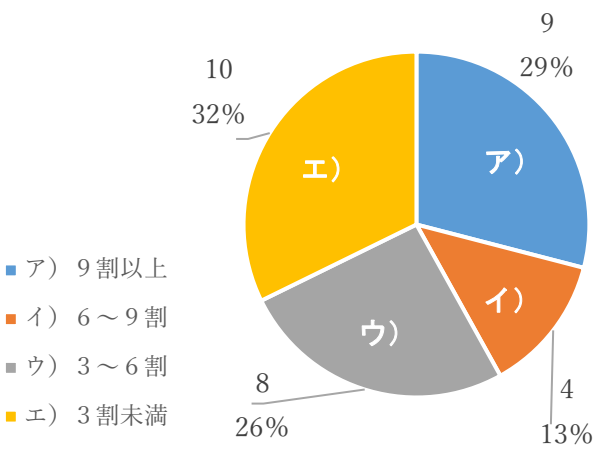
・出せる日を増やしてほしい。



ア）簡単と回答した人の事業への参加頻度



イ）大変、ウ）その他と回答した人の事業への参加頻度



⑤現在の回収方法について

ア）問題なし	123 名
イ）問題あり	5 名
ウ）その他	21 名
回答数	149 件

※「問題あり」「その他」の内容

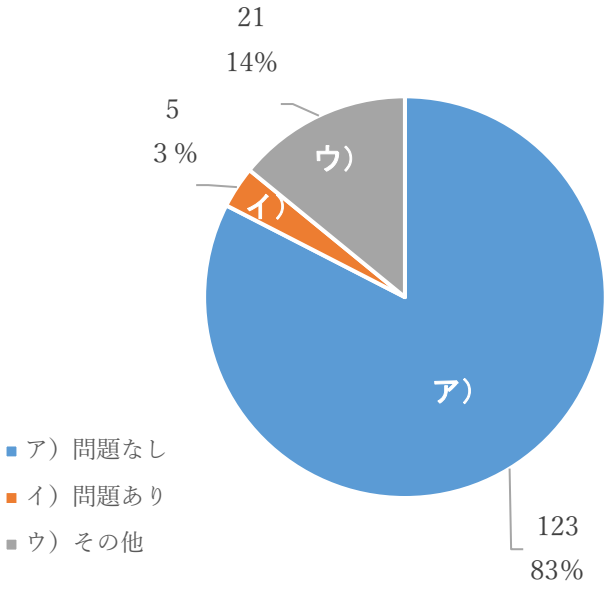
・バケツが強風で飛ばされた。（× 4 ）

・冬は凍って蓋が開けづらい。

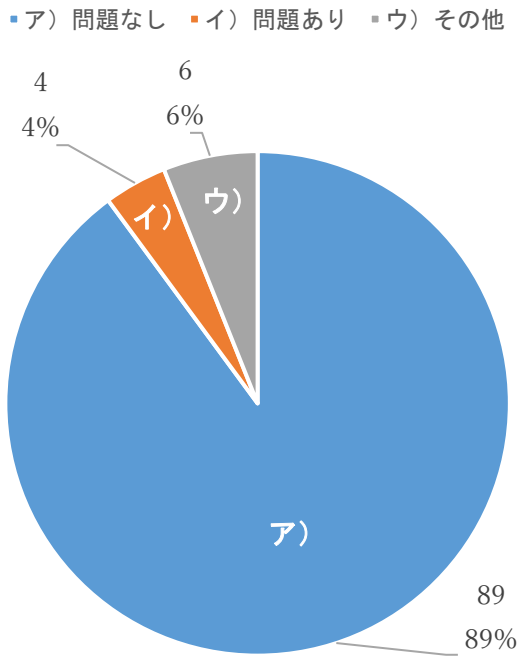
・臭いが気になる。（× 5 ）

・袋代等の経費がかかる。（× 2 ）

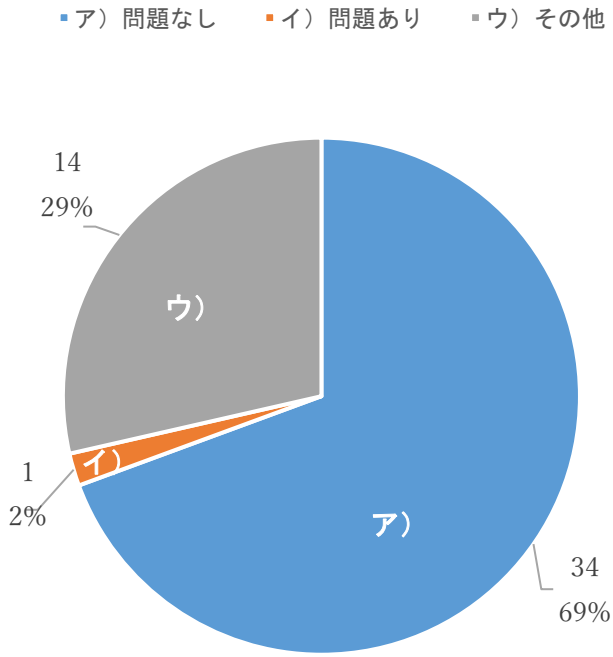
・熊の出没多いので気になる



事業に参加した人の回答



事業に参加していない人の回答



⑥回収頻度（週１回）と曜日について

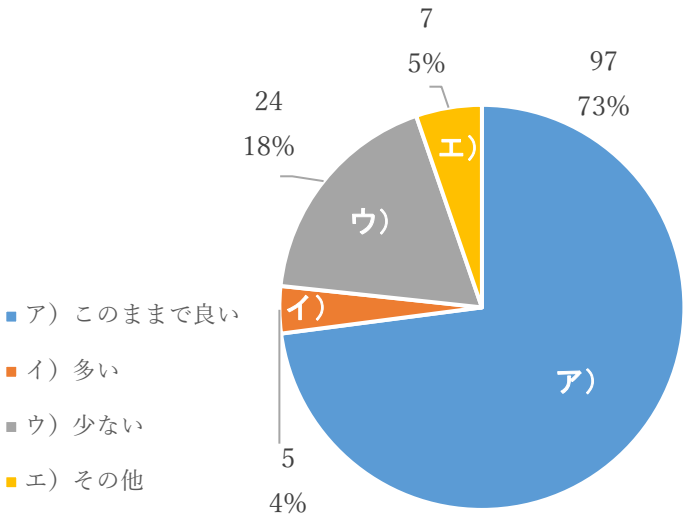
ア）このままで良い	97 名
イ）多い	5 名
ウ）少ない	24 名
エ）その他	7 名
回答数	133 件

※「少ない」「その他」の内容

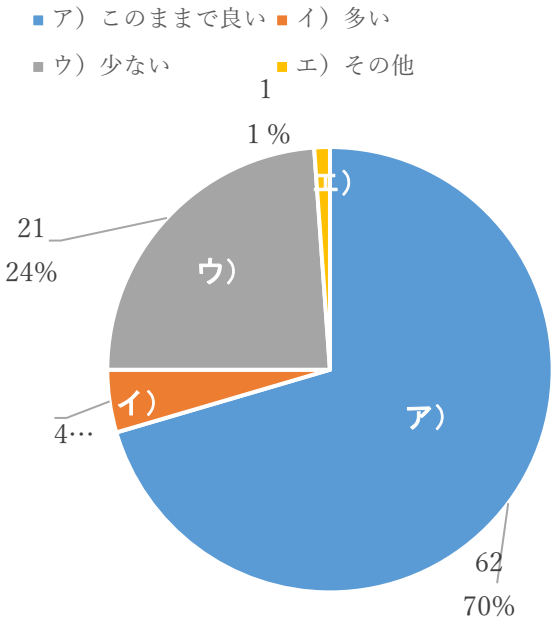
・週２回が良い（×24）

・夏場は増やした方が良い（×2）

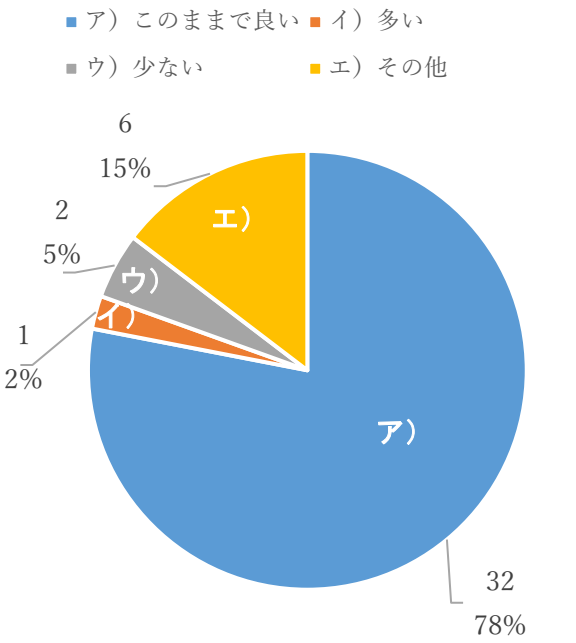
・毎日



事業に参加した人の回答



事業に参加していない人の回答



⑦生ごみをいつでも入れられるようにすることについて

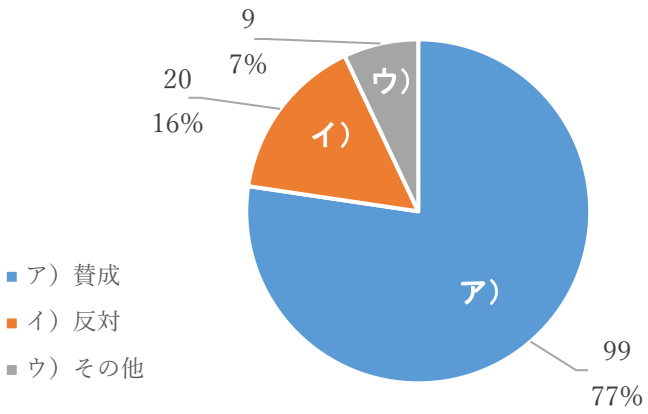
ア）賛成	99 名
イ）反対	20 名
ウ）その他	9 名
回答数	128 件

※「反対」「その他」の内容

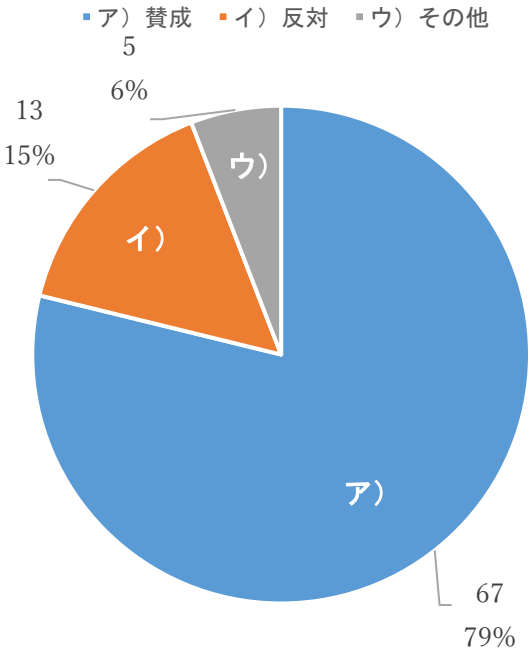
・衛生面、マナー、においが気になる（×13）

・クマやカラスなどの危険性が心配（× 6）

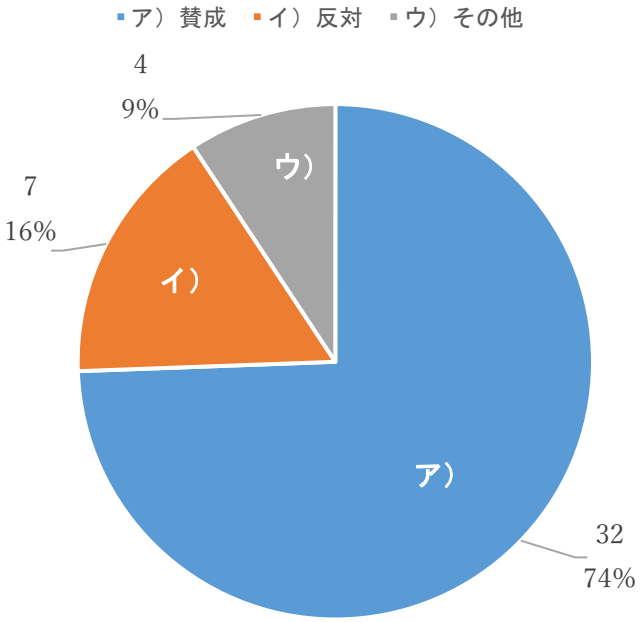
・他のごみと同じように、鍵付のゴミステーションの中に入れられたら安心



⑧事業に参加した人の回答



⑧事業に参加していない人の回答



⑧においについて

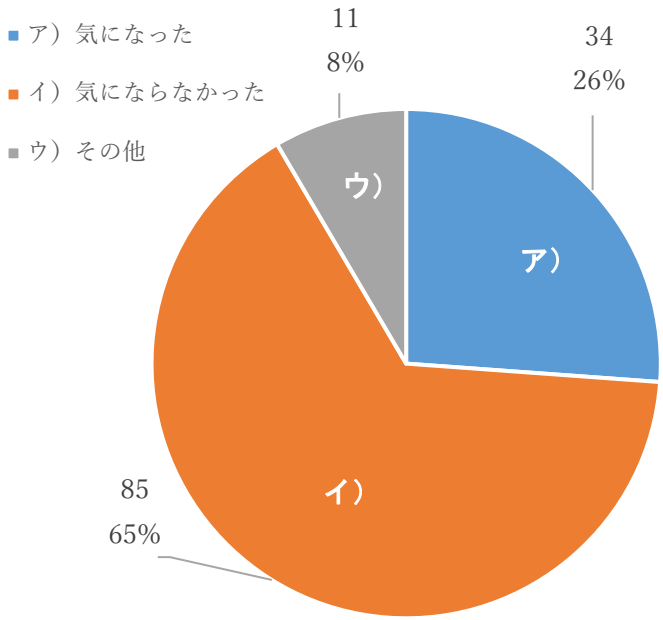
ア）気になった	34 名
イ）気にならなかった	85 名
ウ）その他	11 名
回答数	130 件

※「その他」の内容

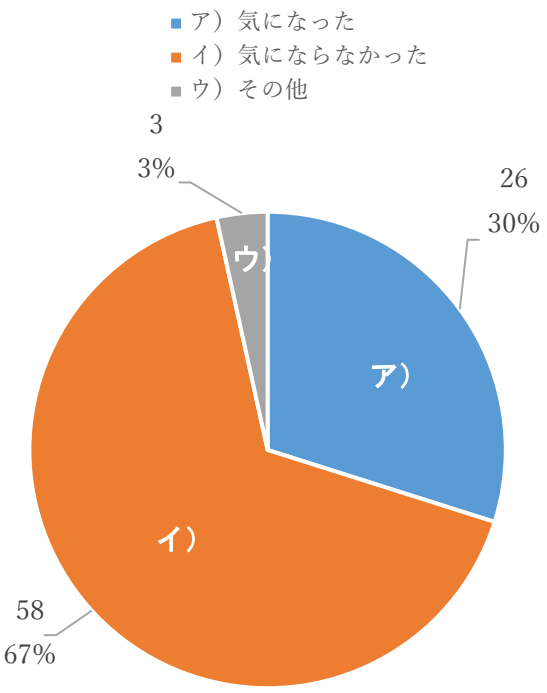
・生ごみと燃えるごみを一緒にしても多少臭いから、気になっても我慢する。

・自宅での保管中に臭いが出る。

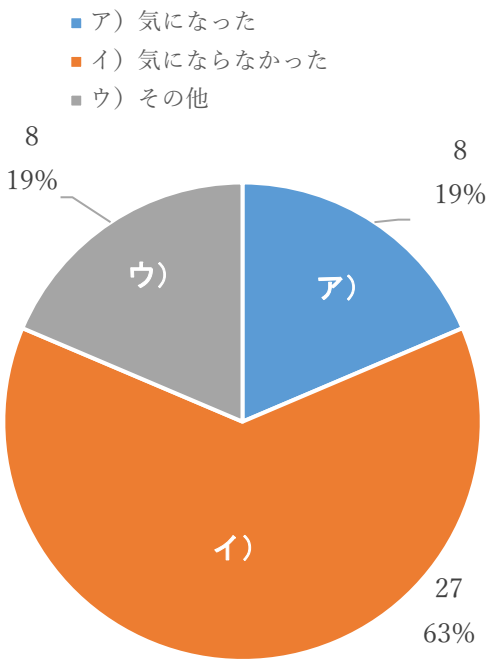
特に夏場



事業に参加した人の回答



事業に参加していない人の回答



４．感想・意見など

○事業継続について

・フードロスにつながりいいことだと思う。
・数が集まればそれなりの量になるためいいことである。
・資源として利用されるのは大変良いと思う。これからも協力していきたい。
・とてもいい事業だと思う。。このまま継続していただきたい。
・生ごみは多いほうなので助かっている。いつまで続くのか（中止になるのではないのかと）心配している。

市の回答　→　今後も継続して実施する予定としており、より多くの町内会での実施を推進していきたいと考えております。

・生ごみの回収により燃やす燃料費が安くなり生ごみが肥料になり、再利用できることはSDGs活動としてもいい活動だと思う。

○生ごみ回収の頻度について

・月曜日が祭日の場合でも生ごみ回収してほしい。夏場は週２回の回収を希望する。

市の回答　→　祝日は生ごみを受け入れる施設（Ｂ－ＧＥＴ）が休業のため、回収することができません。また、回収量を鑑み週１回の回収としているため、夏場で生ごみの臭いが気になる場合は、週２回ある可燃ごみの日に出してくださるようお願いします。

・週１だと生ごみのにおいがしてくる為、家に保存しておくのが難しく、今のところ利用できていない状況だ。
・生ごみをいつでも入れられることになればとても助かる。

○生ごみ回収事業でよかった点

・生ごみ回収することによって、燃えるごみ量が少なくなった。
・燃えるごみの量が減った為、週２回か３回に一度でよくなった。生ごみが入っていないので臭いもしないし軽い。
・ごみの減量化に大変役立っている。今迄、この回収がない時は可燃ごみ月・木であったが、この事業を行って可燃ごみだしは月のみ、つまり半分に減った。
・生ごみのビニール袋が規定されていなくてよい。生ごみが別なので、燃えるゴミの袋が軽くて、臭わなくてよい。できるときにできる分だけ取組、強制したりされたりしなくてよい。無記名で詮索されなくてよい
・ごみ袋が軽くなり、袋の使う枚数が少なくなった。家のごみ箱に生ごみが入らないのでニオイが少なくなった。
・ごみ袋大→小になった
・燃えるごみの量が少なくなってとてもよかった。（×４）
・暑くなると生ごみは保管するとニオイが気になるので、燃えるゴミが少なくても捨てるため、袋がもったいないと思うことが多かった。今は生ごみを別に捨てることができるので燃えるゴミをだす回数が減り、袋の使用回数が少なくてうれしい。
・良かった点は肥料として再利用できること。

○生ごみ回収による波及効果について

・回収をはじめた頃に比べると、何の抵抗もなく普通にやることが「当たり前」という気持ちになってきていた。（自分でもびっくり）

○生ごみ回収事業で気になった点

・臭いがかなり気になっている。蓋を開けて入れるので仕方がないと思うが、蓋を開けないで入れれるようにできないのかと思うことがある。また、毎回回収する箱は、新しい箱にするか、臭い消ししたものにできないものかと思う。回収する箱は、資源ごみの袋でよいのではないか。

○家での分別や保管の工夫

・週 1 回で出せる時だけ生ごみを分別した。生ごみとして出すために保管するのは臭いや衛生面で簡単ではないと思う。

・蓋つきのポリバケツの中に、毎日の生ごみをためている。

・夏場は 1 週間保存するとにおいが気になるので、家と小屋に入れ物を用意してなるべく家の中には置かないようにした。

・私は、野菜の切りくずや、果物の皮などいれていますが、これだけでも結構たまるものだと、そして分けられて気持ちいい。また、使いきれなくてしなびたりしても、役に立つところがあるので、どこかほっとして、出している。

・あれこれ考えているより、初めてみれば以外に簡単にできる。自分なりの工夫をしてみて、うん！と手応えを感じたときは小さな喜びとなる。(1 日分ずつ小さな袋にいれて置いて、出す直前で大きめの袋に入れる。においを感じるのはこの移す作業の時だけ)

・水分が出ることが多いので集める人は大変だと思う。
(なるべく水分を切るようにはしているが)

○意見

・どうして一本木沢だけなのか？他の町内会でも回収してほしい。

市の回答　→　現在、一本木沢町内会と千歳森ルネサンス町内会で実施しております。より多くの町内会での実施を推進するため、町内会へ協力をお願いしたり、説明会を行っております。

・とても良いことやっていると自負している。他県でも増えつつあり肥料のことバケツに配布ありとはったらいいが、生ごみ出してくれてる人全員が知れるように。

・バケツ設置、周辺の人たちの意見も大切に。

・最近十和田市でもあちらこちらで熊の目撃情報がある中、熊のえさになる生ごみをポリバケツに入れておくことに疑問を感じているので協力しない。そのことについてどうお考えでしょうか？

市の回答　→　市内のごみ集積場が熊に荒らされたと言った情報は今のところ入っていないこと、また、生ごみは袋に入れて回収用バケツに入れてもらっておりますが、バケツに臭いを抑えるよう、消臭剤を貼って対応していることから、生ごみ回収につきましては継続して実施することとしております。万が一、一本木沢町内会付近に目撃情報があった際には、休止するなどして対応いたします。

・まだ被害は出ていないようですが、生ごみのにおいでクマを呼び寄せてしまうのでは？と時々思うことがある。

市の回答　→　市内のごみ集積場が熊に荒らされたと言った情報は今のところ入っていないこと、また、生ごみは袋に入れて回収用バケツに入れてもらっておりますが、バケツに臭いを抑えるよう、消臭剤を貼って対応していることから、生ごみ回収につきましては継続して実施することとしております。万が一、一本木沢町内会付

近に目撃情報があった際には、休止するなどして対応いたします。

・町内会全員がルールをしっかり守り生ごみの出し方など迷惑行為をしないように徹底しなければこの事業は、クレームだらけとなってしまうと思われる。
・ごみを減らすよう１人ひとりが努力するべきだと思う。
・我が家はリサイクルできるものなどの分別は結構行っている。もっと利用できやすい状態になれば活用していくと思う。
・注意する点は完全に生ごみだけを入れること

〇要望

・設置方法…風でバケツが設置場所から外れる。紐じゃなくロープで固定しないと
市の回答　→　バケツが風で飛ばされないよう対策します。
・設置するのはいいが、強風対策までしっかり行ってほしい。風で飛ばされていた。ラベルも日焼け、雨風による劣化ではがれていたのでその対策もお願いしたい。
市の回答　→　劣化しているラベルについては、順次貼り替えを行ってまいります。
・生ごみの分別について質問したが回答がなかった。分別を細かく教えてほしい。
市の回答　→　町内会に配布しているチラシ又は、市ホームページに掲載している分別表をご覧いただくか、お手数ですが市役所くらし環境課にお問い合わせください。
・事業はいいと思いますし、これから必要性が増すと思いますが、生ごみを出すたびに悪臭で吐き気がするので、臭い対策を何とかしてほしい。
市の回答　→　臭い対策としてバケツの蓋に付ける消臭剤を取り付けています。バケツ自体に臭いが染み込んでいる場合はバケツを交換します。
・きちんとしたやりかたを教えてほしい。
市の回答　→　町内会に配布しているチラシ又は、市ホームページに掲載している分別表や日程表をご覧いただくか、お手数ですが市役所くらし環境課にお問い合わせください。
・収容のバケツは手でロックを外すが、ステンレス製の重いもので、足ペダルで蓋が開くことができる！！
市の回答　→　ステンレス製のものは、丈夫で足で蓋の開閉が容易にできる点で有効と考えますが、汚れの蓄積や凍結などによりペダルが故障しやすいこと、蓋にロックが無いため、臭いが漏れたり、転倒した場合に中身がこぼれる可能性があることから設置は考えておりません。

〇その他

・回収する方々は大変だと思う。
・ごみのことは住民、皆で考え取り組んでいく必要がある。次世代には住みよい環境を残したい。
・生ごみ出すのもいいけど、家で管理が大変、少ない時もっていくのが面倒
・バケツの中に汁が残っているのが気になる。
・他県での生ごみ回収を TV で見た。やはり電気おこして増々、やる県が増える事でしょう。一本木沢町内、早々とやっていて自慢。

〇市として、今後もより良い取り組みとしていくために、ご意見等を伺い改善しながら進めてまいります。